

## 2023年度事業計画

### 1. 公益目的事業

#### (1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

---

##### ■国際理解講座 Global Understanding & 沖縄フィールドワーク

目的 世界の中、とくにアジアの中の日本を知るため、日本の歴史や現状を学び、国際理解を深める。日本の学生、留学生、青年が国内外のプログラムに参加する際の事前学習として位置付け、議論ができる力を育む

対象 学生一般(大学生、大学院生、留学生など)

内容 沖縄フィールドワークへの参加を前提に事前学習を実施。沖縄フィールドワークは沖縄戦の歴史と米軍基地問題について各地を訪れて学ぶ体験型学習で5月ゴールデンウィーク中の3泊4日を予定

##### ■CENA (Civil Society Education Network in Asia) 夏期学校(共催)

目的 アジアの歴史を学び、各国の情勢や社会問題を討議し、武力によらない平和構築に向けて学生が学び合う

対象 学生一般(大学生、大学院生、留学生など)、青年

内容 2022年度は6月～9月にかけてオンライン開催となった。本年度の実施について各大学・団体担当者間で調整中

参加団体: 恵泉女学園大学、聖心女子大学、沖縄キリスト教学院大学、韓国・聖公会大  
学校、韓国・韓信大、台湾・世新大学、タイ・Asia Muslim Action Network、  
インドネシア・イスラーム大学、パキスタン・CWSA、早稲田奉仕園

日程: 6～8月事前学習

8月ウェブスクール開催(見込み)

9月事後学習

10月報告書発行

##### ■相互交流ワークショップ

目的 異なる文化や価値観を受容することができ、国際的視野が広がるといった参加者の成長、グローバル人材としての向上を図る

対象 現役大学生および大学院生(若手)

内容 日 時：8月下旬

場 所：韓国ハンバット大学

参加者：日本から若干名、韓国・中国からの参加者数は各大学で判断

内 容：韓国ハンバット大学と中国延辺大学の日本語学部の大学生と相互交流を行う。  
ワークショップや発表会、講演、ホームステイ、ゲストスピーカーとして授業参加等を通じて、現地の文化的背景や歴史、習慣等への理解を深める。2023年度はパイロット版として開催。次年度は中国、その後は日本と持ち回りを想定

協 力：公財ウエスレー財団

### ■長崎フィールドワーク

目的 異郷を感じる地、原爆被害にあった地などで知られる長崎で歴史がどのように語り継がれているのかをめぐるフィールドワーク

対象 社会人、学生

内容 2023年3月実施予定の成果を踏まえ実施を検討する

いくつかのテーマを通して、長崎の地域で取り組んでいる課題や実践の状況を学ぶ。

日時：2024年3月上旬

定員：10～15名

### ■オンライン・多文化共生のためのボランティア講座—地域における日本語学習支援について学びましょう

目的 多文化共生社会は、異なる国や地域にルーツをもつ人たち、異なる言語を使う人たち、異なる背景をもち、異なる問題を抱える人たちが、互いに尊重し合い、対等な関係で生きられる社会ととらえ、地域における日本語教育が多文化共生社会の創生に資するためにボランティアは何ができるのかを模索し共に学ぶ日本語教育のあり方を考え、試みる

対象 社会人、学生

内容 オンデマンドとオンタイムオンライン授業。最終課題でレポート提出し、講師からのフィードバック

期 間：年度前半

オンデマンド配信(1時間程度)7回、事前配信

オンライン授業(1.5時間)7回

対面クラス(2時間)3回

講師：福村真紀子(親子サークル「多文化ひろばあいあい」代表、東京外国語大学非常勤講師、博士(日本語教育))

## (2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

### ■日本語ボランティアの会

目的 日本語の学習を必要とする人に日本語学習の支援をするとともに、国際交流を深める

対象 ボランティア講師：奉仕園の講座修了者など

学習者：日本語学習を必要としている10歳以上の方どなたでも

内容 日本語を必要としている学習者にボランティア講師が日本語を教える。講師は奉仕園の講座修了生および推薦などで公募予定。課外活動などは見合わせるが、学習者発表会などの機会を模索する

開講日：対面にて水曜日、金曜日1クラスずつ。オンラインクラスは検討中

### ■野宿者支援給食活動(共催)

目的 野宿者、生活困窮者の方々へ食事や保存食、支援物資を渡すボランティア活動を通して、格差社会や貧困、生存権の問題を身近に感じる

対象 大学生、院生、留学生、社会人ボランティア

内容 約150人分の食事、保存食、支援物資を準備、渋谷にて配食活動。偶数月にはボランティアの弁護士や司法書士による相談会を行う

日時：月2回(原則第2、第4日曜日)午後から夕

共催：日本キリスト教団早稲田教会

協力：NPO法人セカンドハーベストジャパン、キリスト教学校ほか

### ■災害被災者支援ボランティア活動

内容 災害発生時、信頼できる受入先がある場合に初期のボランティア活動に参加し、被災地や被災者の状況を知り、共に生きる社会を実現していく。防災や減災の意識を醸成し、自然災害に対してどのように向き合っていくか、自助と共助の精神を養う

## (3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

### ■Let's 朗読

目的 朗読の基本や声の出し方などを学び、元気を養い、普段の生活に張りを与える。詩や

物語の世界で感性を磨く

対象 社会人、学生

内容 ストレッチで体をほぐした後、発声練習で発音や発声をクリアにし、作品に取り組み、詩や物語を感じながら朗読する。各期の終わりにはミニ発表会などをする。クラス形式はオンラインクラスをメインで行い、対面クラスを各期3回ほど設ける。

期日：前期・後期の2期制各期8回

講師：飯島晶子(朗読家・「VoiceK」主宰)

## ■オンライン・キリスト教文学に学ぶ キリスト教に深く根ざした文学の魅力

- 遠藤周作『沈黙』『深い河』から宮沢賢治『銀河鉄道の夜』へ - (共催)

目的 遠藤周作、宮沢賢治の作品に見られるキリスト教を読み解き、日本におけるキリスト教思想の受容を探る

対象 社会人、学生

内容 遠藤周作4回、宮沢賢治2回

講師：山根道公(ノートルダム聖心女子大学教授)、山根知子(ノートルダム聖心女子大学教授)

期間：2023年5～11月の各月1回ずつ計6回(8月は休み)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

## ■対面講座「キリスト教と文学」読書会 (共催)

目的 多様な日本及び外国文学を取り上げ、作品に織り込まれているキリスト教信仰、思想を読み解く

対象 社会人、学生

内容 対面のゼミ形式で山本周五郎、井上ひさし、シェイクスピア、ミヒャエル・エンデなど日本文学・外国文学各4作品を読む

会場：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

講師：柴崎聰(文芸評論家)

期間：5月～3月計9回

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

## ■パイプオルガン・アカデミー

目的 キリスト教会での奏楽者のスキルアップ、キリスト教音楽への理解の促進、パイプオルガンのレパートリーを増やすことを目的とする

対象 礼拝奏楽者、オルガン愛好者など社会人、学生  
内容 プロのオルガニストによる個人レッスンと演奏発表会  
期間：レッスン日を講師と設定しながら(発表会は年に1度)  
講師：水野均(桐朋学園大学講師、早稲田教会オルガニスト)  
協力：早稲田教会

### ■オンライン『マルコ福音書をジックリ読む』(共催)

目的 聖書のメッセージの今日的意味を学び、自らの人間形成に役立てる  
対象 学生、社会人  
内容 2018年度からの継続で「マルコ福音書」を丁寧に読み進める。フェミニスト、ポストコロニアル、クイア、障碍の神学などからの新しい読み方も紹介。2023年度にて終了する  
期間：毎月第2火曜日全10回  
講師：山口里子(聖書学者)  
共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

### ■オンライン・日本キリスト教史を読む(共催)

目的 昭和時代に日本のキリスト教をリードした人々の信仰を学び、現代社会のあり方を考える  
対象 学生、社会人  
内容 由木康、赤岩栄、木俣敏、鈴木正久、北森嘉蔵、井上良雄、隅谷三喜男の生涯とその信仰理解に遡って考える  
期間：毎月第2木曜日全7回  
講師：戒能信生(日本基督教団牧師、日本聖書神学校等講師)  
共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター・関西セミナーハウス活動センター

### ■STUDY HALL!

目的 講演会、映画上映会、料理(レシピ)教室、ワークショップ、フィールドワークなどの単発イベントを束ねる枠組み  
対象 社会人、学生  
内容 臨機応変に設定できる講座として、共催や持ち込みプログラムを取り込んで講座の幅を広げたい。また、寮に滞在の留学生・研究員を講演者にしたり、セミナーハウスの

チャリティー古本市との連携も視野に入れて企画したい。状況を見ながら、オンライン開催にも柔軟に対応する

関東大震災 100 周年関連映画上映会(5 月開催予定)

映画『医師中村哲の仕事・働くということ』上映会(夏頃開催予定)

東ティモール写真企画展(2024 年 2 月予定)など開催予定

#### (4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

---

##### ■友愛学舎

目的 イエス・キリストの奉仕の精神に基づき、広く国際的視野に立って、学生・留学生および社会人に対し、学びと交わりを通しての人間形成の場を提供。充実した学生生活の確立に向けた支援

対象 舎生数: 3 年生 3 名、2 年生 2 名に加え新 1 年生・2 年生最大 5 名募集

内容 朝の会: 学期期間中の月曜日から金曜日実施。聖書講読ほか学生発表

舎生会: 毎月 1 回開催、友愛活動・生活について話し合う年間

活 動: 新入生を含めたオリエンテーションを実施、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持つ。入舎式・卒舎式をはじめ、年中行事を楽しむ会などを担当し企画運営をおこないながら自己研鑽をする。教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を増やしていくようにし、広い視野を持って社会に出て行かれるようサポートをしていく。

古賀博牧師、大矢直人牧師、中澤重光牧師に聖書講読のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕をいただく

##### ■キリスト教学生寮懇談会

目的 キリスト教学生寮の運営担当者が集まり、寮活動の情報交換、学習会等を通じて学び合い、寮運営の充実をはかる

対象 都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮(現在 10 団体)

内容 懇談会をもちまわりで開き、寮の課題、寮生募集等について話し合う

##### ■ゲストハウス

目的 関東近郊の大学に在籍する外国人留学生が勉学、研究に励み、安心して寮生活を送れるよう支援する

対象 関東近郊の大学に在籍する学部、大学院の外国人留学生

内容 1号館2階201～208号室計8部屋を運営。滞在中に日本文化に触れるプログラムを通して、日本の歴史、習慣、文化を学び相互理解を深める。また奉仕園プログラムへの積極的な参加、協力を促す

#### (5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

##### ■国際学舎

目的 早稲田大学の外国人留学生、研究員が勉学、研究に励み、安心して寮生活を送れるよう支援する

対象 早稲田大学の外国人交換留学生、早稲田大学外国人研究員

内容 5号館2階～4階、3号館2階～12階、1号館3階301～304号室、4階404～415号室計152室を運営。滞在中に日本文化に触れるプログラムを通して、日本の歴史、習慣、文化を学び相互理解を深める。

退寮 2月上旬及び8月上旬

入寮 3月下旬及び9月下旬入寮オリエンテーションはオンライン(居住者向けのポータルサイト)で実施

避難訓練実施(3月、9月の入寮時)

Cooking Exchange program 教室(6月、10月)

クリスマスカード送付(12月)

##### ■健康相談室の運営

目的 寮居住の留学生、友愛舎生、研究員が心身とも健やかに生活できるように、看護師、医師、臨床心理士がサポートする。既往歴のある居住者には必要に応じて面接をし、現在の病状を把握し通常の生活ができるようにサポートする

対象 早稲田大学の外国人交換留学生及び外国人研究員、友愛学舎生、ゲストハウス生

内容 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため対面相談は当面休止し、予約制でのオンライン相談を行う。また今後の状況に合った相談室のあり方を検討していく

相談可能日時:火・木・土・日 13時～17時(カウンセラーと調整して相談日を決定)

##### ■ウエルカムパーティー&奉仕園クリスマス会

目的 留学生、日本人を含め奉仕園内の寮で生活をする学生の親睦をはかる

対象 早稲田奉仕園寮生

内容 ウエルカムパーティーは4月及び9月の入寮時に実施。9月はJapanese Nightとして

友愛学舎がホストを務める。クリスマス会は12月9日に開催、寮生によるアトラクションや静かなひとときを中心に交流パーティーを実施

### ■留学生スキー研修@万座温泉

目的 硫黄濃度日本一の万座温泉を訪れ、スキー・スノーボードを体験し、温泉につかりながら疲れを癒す。留学生と友愛学舎・信愛学舎などの日本人学生と合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする

対象 留学生、友愛学舎及び近隣学舎の日本人学生、20名程度

内容 スキー・スノーボード体験、温泉体験、交流会など

期間 2024年1月5～6日または成人の日前後1泊2日

### ■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

目的 留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進する。日本の大学生と留学生が交流できる場を提供し、充実した留学生活を送れるようサポートする。日本語ボランティアの会に参加する在日外国人の方々にも歌舞伎鑑賞などを通じて、文化体験の機会を提供する。(新型コロナウイルスの感染状況により中止・変更の可能性がある)

対象 国際学舎に居住する留学生および早稲田大学留学生、大学生一般、日本語ボランティアの会学習者

内容 7月 Discover KABUKI 歌舞伎鑑賞@国立劇場(日本語ボランティアの会学習者と合同) 学生よる引率

7月29日隅田川花火大会見物@日本基督教団東駒形教会(4月頃花火大会実行委員が開催日を決定)

2024年1月餅つき(早稲田教会と合同)

そのほか、お花見など季節行事の企画

### ■Cooking Exchange Program

目的 各国の料理を共に作り、共に食べることを通じて国際理解を促進する

対象 早稲田奉仕園寮留学生

内容 年に2回実施予定(5月と11月)。ボランティアにより日本料理体験教室を予定



## 2. 収益事業

### (1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

---

#### ■不動産賃貸事業

目的 収益事業として財団運営を財政的に支える。施設の利用提供による早稲田教会及び東京平和教会の教会活動の支援

内容 月極駐車場：計 42 区画

建物：教会礼拝堂・事務所・店舗等の貸出

#### ■早大染谷会館管理

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう

### (2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

---

#### ■セミナーハウス施設の貸与

目的 当財団の収益部門を担い、財団の運営を円滑にするため一定の収益を確保する。歴史的建造物のスコットホールの動態保存、利用者の文化活動、施設修繕等を通じて奉仕園の認知および利用の拡大を目指す。年末年始・大型連休を除く毎日営業

対象 一般、法人、学生、非営利組織等

内容 会議室・ホールの貸出：コンサート、語学教室、句会、朗読、文芸、詩、文化芸術活動

撮影(スチール・動画)の受入：ファッション誌、ファッションカタログ、広告、ドラマ、CM、ミュージックビデオ、再現VTR

ギャラリー：絵画、写真、その他アートの展示貸出

#### ■セミナーハウスプログラム

目的 文化的イベントの主催、公益活動実施団体への協賛を通じて、市民活動の活性化をはかる。また、スコットホールの文化財としての価値を高める

対象 市民団体、NGO、NPO、民間企業、キリスト教団体、学生団体、個人ほか

内容 セミナーハウス利用の公益団体との共催企画

早稲田スコットホールギャラリーにて年数回の企画展示

チャリティー古本市(収益は公益団体へ寄付)

スコットホール公開日

新宿区と連携し、スコットホールの文化財(登録有形文化財、重要文化財)登録へ向けて資料整理や条件を整えていく

### 3. 事業共通業務

#### ■業務管理システム

寮生の料金収納の利便性向上を目指したシステムの導入を検討する

#### ■資料保存

文書資料のデータ化、画像映像のアーカイブ保存を進める

#### ■広告・宣伝

セミナーハウス事業でのネット検索サイトの活用を強化する。フェイスブック、ツイッター、ブログ等多彩なメディアの導入を進め、早稲田奉仕園の情報発信力を高める

### 4. 法人総務

#### ■広報

奉仕園通信の発行年2回を予定

#### ■財団会議

理事会：第1回定時理事会(6月)、第2回定時理事会(3月)

評議員会：定時評議員会(6月)

常任理事会：数回開催

評議員・理事・監事懇談会：11月開催を予定

ワーキンググループ会議：12月末までに数回開催し答申をまとめる

このほか必要に応じ、臨時理事会、臨時評議員会を開催する

#### ■監査

監事監査(5月、11月)及び公認会計士監査(5月、3月)、公認会計士実査(4月)

#### ■役員等人事

2023年6月の定時評議員会終了をもって、現評議員、理事、監事とも任期満了となる。同評議員会にていずれも選任を諮る

#### ■早稲田正午礼拝

近隣教会、団体有志による礼拝。4月より月1回にとして再開する

#### ■キリスト教施設長会

施設長会議を2024年1月または2月に開催予定

### 5. 資金調達及び設備投資

#### ■資金調達

借り入れの予定なし

#### ■おもな設備投資

おもな施設更新、備品購入等は次のものを予定している

スコットホール講堂照明交換工事	315万円
国際友愛学舎エレベーター基盤修繕	155万円
国際友愛学舎居室エアコン更新	684万円